基礎プログラミング I 前期感想

c1081042 讃岐彩華

基礎プログラミング I の授業は初めてのことでとても大変だった。まず `firefox` を立ち上げることから始まり、`Login` や `Logout` の仕方、`Kterm` の使い方を学んでいった。ソフトウェアを実行するときは必ず `&` をつけなければならないことも、理由はわからないまま前期の終わりまでできてしまった。

授業内容も、`Ruby` を起動して `Kterm` にプログラムを表示させるところまでは簡単だったが、進んでいくとわけの分からないプログラムがたくさん出てきて理解が追いつかなかった。`while—end` 文や `if—end` 文は仕組みはわかってもどんな場面で使えばいいのか考えるのが難しかったが、その分活用できると喜びが増した。他にも様々な `method` が出てきて、いまだに全部覚えられていない。とにかく授業はついていだけで精一杯だった。意味を考えている暇などなく、授業が終わってからレポートを書いてようやくプログラムの意味がわかるようになった。しかしそのレポートも書き方が悪くて評価が低いものばかりだった。そもそも `method` の意味を理解できていないので説明がなかなかできなかった。

この基礎プログラミング I の授業では、`Ruby` やプログラムの作り方のほかに、レポートの書き方も学んだ。論理立ててレポートを書くというのが難しかった。さらに感想では前向きな文章を書くと言われたが、前向きになれるほどプログラムをきちんと作ることができなかった。どれもまだまだなのでもっと力をつけていきたい。

前期を振り返ってみると、毎週レポート課題の提出で忙しくて毎日があっという間に過ぎてしまった。回を追うごとにレポート内容も難しくなっていて、毎日放課後に残ることになった。だが、レポートを書くことで改めてプログラムを理解することができて楽しかった。学んだプログラムを応用することはまだできていないが、これからさらに精進していきたい。後期も授業についていけるよう頑張りたいと思う。